

東奔西走

とうほんせいそう



宮城県議会議員

村上ともゆき

県政報告書 | 2018年 秋号

第364回宮城県議会定例会一般質問(一部抜粋)

① 震災復旧・復興の諸課題について

(質問) 地域コミュニティ再生支援費について平成32年度までとなっている事業実施期間について、被災弱者の健康被害の低減の観点からも弾力的な運用が求められると思うが見解はどうか。

(知事) ご紹介のありました「岩沼プロジェクト」は、震災前後の高齢者の健康や社会生活の変化を調査研究したものであり、被災地域におけるコミュニティ支援の重要性を示唆するものと考えております。復興を成し遂げ、被災者ひとりひとりが生きがいを持ち、安心して暮らせる地域コミュニティを再生していくためには、復興の進捗状況に応じて、今後も継続的な支援が必要となることから、県としては、平成33年度以降についても、被災市町の実情に応じた支援ができるよう、必要な財源を確保し、地域コミュニティの再生に取り組んでまいります。



② 仙台空港周辺地域活性化・運用時間延長等について

(質問) 利便性の向上、新規就航や利用客数の増加に向けて、現在の運用時間を検証する時期と思うが、基本認識について騒音調査等の結果と併せてどうか。

(知事) 我が県のみならず、東北全体が人口減少していく中で、持続的に発展していくためには、交流人口の拡大が必要であり、仙台空港は「東北の玄関口」として、重要な役割を担っているものと考えております。今後、仙台空港を利用する航空旅客を飛躍的に増加させていくためには、LCCを中心とした新規路線の積極的な誘致が必要であり、航空会社の要望に応じた柔軟な運用時間の設定も重要な課題と認識しております。このため、仙台国際空港株式会社とともに運用時間延長に伴う騒音予測調査を進めているところであり、結果がまとまり次第、名取・岩沼両市及び関係住民の皆様にお示しをいたしまして、意見交換をしてまいりたいと考えております。

(質問) 過去の運用時間延長の際には、市や周辺住民等との協議に多くの時間を要しているが、現時点において運用時間延長のプロセスをどう考えるか。



(知事) 仙台空港は、これまで地元の皆様のご理解と御協力のもとに、3,000メートル滑走路への拡張整備や現行の運行時間となる14時間への運用時間の延長を進めてまいりました。運用時間の延長は、何よりも地元の皆様のご理解が前提となりますことから、まずは、運用時間の延長に関する考え方や騒音予測調査の結果などをまとめ、両市及び関係住民の方々に提示させていただき、意見交換を重ねてまいります。その後、航空会社の運航計画等を踏まえ国と協議を行い、空港運用時間の延長を進めてまいります。

③ 県営住宅について

(質問) 県営住宅の空き家戸数が減らず、管理運営に苦慮している現状についての知事の認識はどうか。また、修繕費が高騰する中、人気の高い住宅の優先的修繕や高騰分の予算増額等の対応が必要だが、知事の所見を伺いたい。

(知事) 修繕することにより、募集が可能となる県営住宅の空家戸数については、平成28年度末では508戸、平成29年度末では797戸と増加しております。入居者が共通して使用する施設の維持管理費である共益費については、入居者において負担することとなっていることから、空家率が高い団地においては、入居者の負担割合は高くなり、また、自治会については、収入の減少により、活動に影響が生じていくものと認識しております。県といたしましては、昨年度から応募倍率が高く、空家戸数が多い団地の修繕を優先的に実施して募集するとともに、市町村が管理する公営住宅とも十分調整を図りながら、県民のニーズにできる限り応えられるよう取り組んでいるところです。今後もこうした取組を徹底することで、県営住宅の適切な管理運営に努めてまいります。



主要地方道 岩沼蔵王線トンネル工事の進捗状況

9月26日、県道岩沼蔵王線志賀姥ヶ懐トンネルが完成しました! 今後は平成31年中の完成開通を目指し、取付道路改良、トンネル内部防災設備や電気設備工事を進めていきます。



仙台国際空港、新旅客施設ピア棟が10月28日から共用を開始しました!

この施設整備により、国内線出発搭乗ゲートが現在の6カ所から10カ所に増設され、朝や夕方など発着便が集中する時間帯のキャパシティが拡大し利用客のサービス向上や新規就航、増便の実現に大きく弾みがつくものと期待されております。



第365回宮城県議会(9月定例会)

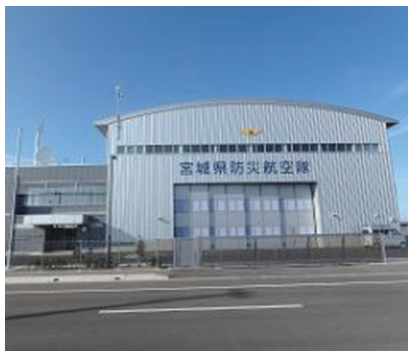
10月12日会派の代表として、平成29年度財政運営、内部統制、みやぎ健康プラン、仙台空港利用促進等について決算蘇活質疑を行いました。詳細は後日報告を致します。



実現
1

議会で提案をしてきた、宮城県防災ヘリコプター管理事務所が岩沼市下野郷地区に移転復旧されました。

宮城県防災ヘリコプター管理事務所が東日本大震災で使用不能になった仙台市若林地区から岩沼市下野郷地区に移転復旧され、防災力向上や空港周辺フロンティアパークの有効活用が図られました。



実現
2



主要地方道岩沼蔵王線長岡地区道路改良工事。

実現
3



五間堀川(南長谷地区)京橋周辺除草、支障木除去工事を進めております。

村上ともゆき プロフィール

- 昭和43年10月14日生まれ
- 東北学院高等学校、東北学院大学、宮城大学大学院事業構想学研究科修了
- 平成11年岩沼市議会議員選挙初当選
- 平成19年宮城県議会議員選挙初当選 現在3期目
- 宮城県薬剤師会政策委員、宮城県ラグビーフットボール協会参与
- 宮城県スキー連盟顧問

村上ともゆき 事務所

〒989-2432 岩沼市中央1丁目2-20
TEL 0223-36-7140
FAX 0223-36-7141

村上智行

検索

murakami-tomoyuki.net



※業務のため不在にする場合もございますので、お出かけの際は、上記電話にご一報下さい。



お茶の間 県政懇談会

皆様の声をもっと身近でお聞きしたく、お茶の間県政懇談会を開催していただける皆様を募集させていただいております。皆様が疑問に感じていること、わからないこと、何でもお話しください。皆様のお役に立ちますよう一生懸命に努めさせていただきます。お気軽にお申込みお願い致します。



- ①代表・責任者氏名 ②連絡先
③開催希望日 ④時間 ⑤場所 ⑥人数

※お茶の間県政懇談会開催希望の方は、上記内容を電話又は、FAXにてお申込み下さい。申込みをいただきましたら、県政事務所よりお電話にて細かい打ち合わせをさせていただきます。